

# 魚釣りの楽しみ方

身近な公園は魚釣りが楽しめる絶好のポイント。

小型のマブナや鯉、へら鮒のほか、モツゴ、モロコ、タナゴなど、淡水ならではの五目釣りが楽しめます。

釣り場によっては1カ所のポイントで

いろんな魚が釣れることも多く、バラエティー豊富で楽しめます。

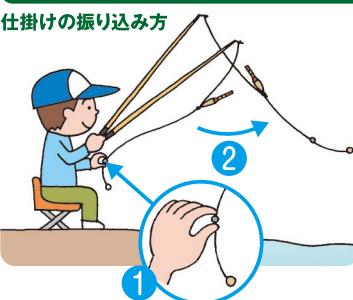
草が生えていたり水が流れ込んでいるところなど、

変化のあるポイントを探ってみましょう。

ファミリーや仲間と遊びがてら楽しむのにぴったりです。

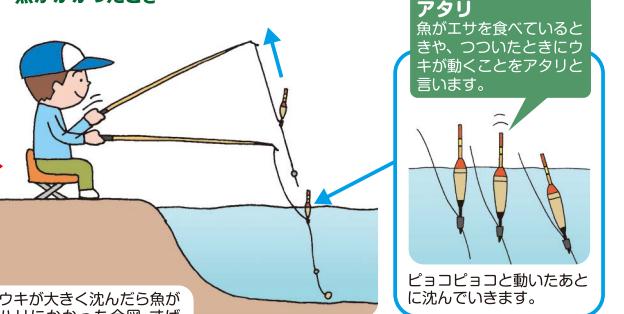


## 釣り方例



- 片手で竿を持ち、もう一方の手で仕掛けのオモリ部分を持ちます。
- 竿を振り、振り子のように仕掛けを送り込みます。

## 魚がかかったとき



**アタリ**  
魚がエサを食べているときや、ついたときにウキが動くことをアタリと言います。

ピヨピヨピヨと動いたあとに沈んでいきます。

## エサの作り方例



分包1袋をエサボウルに入れます。



袋の水量線で水100ccを量ります。



量った水を加えます。

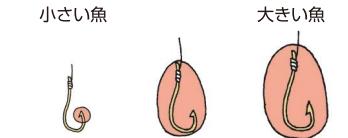


水分がゆきわたるようかき混ぜ、待ちます。



3~5分たつたら、できあがります。

## エサの付け方例



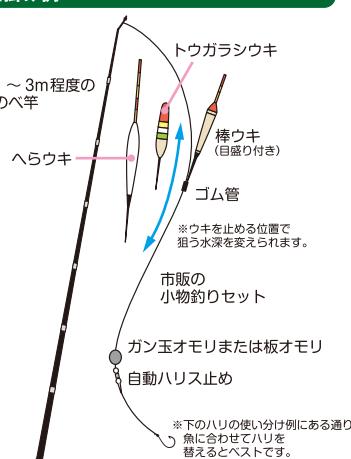
ハリ先に引っ掛けるように付けたり、釣りたい魚や、魚のサイズに合わせてハリに付けるエサの大きさを変えましょう。

## 魚のはすし方例



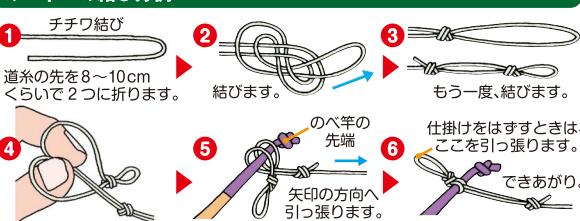
ハリがかかる方向とは反対側に力を入れて、ゆっくりはすしましょう。

## 仕掛け例



※下のハリの使い分け例にある通り、魚に合わせてハリを替えるとベストです。

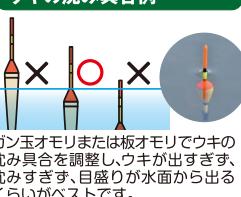
## のべ竿への結び方例



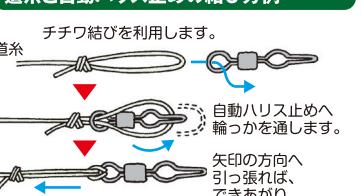
## 板オモリの巻き方例



## ウキの沈み具合例



## 道糸と自動ハリス止めの結び方例



ハリスの先に一重結びでコブを作ります。  
先を通り、先とハリスをつまんで矢印の方向へ引っ張れば、できあがり。

## 自動ハリス止めとハリスの付け方例



チチワ結びを利用して、すき間に輪つかの先を入れます。  
ハリスをつまんで矢印の方向へ引っ張れば、できあがり。

## ハリの使い分け例



釣りたい魚に合わせてハリの種類や大きさを使い分けると、魚がより釣りやすくなります。  
下の写真を参考に糸付きのハリを購入し、市販の小物釣りセットに付いているハリと交換すればOKです。



- タナゴ用(半月)
- ヤマベ用(2号)
- フナ用(3号)
- へら鮒用(スレバリ2号)

- マブナ
- 小ゴイ
- へら鮒

※ハリの写真は原寸大

## 道具例



## 持ち物チェックリスト

※あると便利なもの

釣り竿	タオル
小物釣りセット仕掛け	イス
板オモリ(ガン玉オモリ)	アミ
ハサミ	レジャーシート
釣りエサ	計量スプーン
エサを練る容器	偏光サンガラス
バケツ	観察する容器

## 釣り場のマナー

- 釣り場(施設)のルールは守りましょう。
- ゴミ類は必ず持ち帰り、分別処理しましょう。
- 汚した釣り場は、水で洗い流すなど掃除をしましょう。
- エサの空き袋、釣り糸、仕掛け、ハリなどは、その場に放置せずに必ず持ち帰りましょう。